



クロスメディアを総合力でプロデュースする

PTC GROUP

半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525 (代) FAX 0569-29-4500
<http://www.handa-cp.co.jp>

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』就職 —自分ドラマつくろう— (114) 岡田 清 治



■プロフィール

著者：岡田 清 治 (おかだ・せいじ)

1942年生まれ ジャーナリスト(編集プロダクション・NET108代表)

著書に『高野山開創千二百年 いっぱいさん行状記』『心の遺言』

『あなたは社員の全能力を引き出せますか』『リヨンで見た虹』など多数

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を下記のFAXかメールでお寄せください。
今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込む
ことを試み、一緒に考えます。
FAX: 0569-34-7971 メール: takamitsu@akai-shinbunten.net



【写真】いばらの道が待っている(著者撮影)

姪の就職2

澤子が薄とした表情で口を開いた。
「あなたの思うようにやってください。わたしはあなたの傍を離れたくありません」

片桐は内心ホッとした。それにしても女性性は結婚すると強くなるというが、片桐は澤子にこもる簡単に承知してもらおうと、自分が思い悩んでいることがバカバカしく思われてくる。仕事や会社のことを知らないから澤子は平然と言っているのかもしれない、片桐にはうらやましくさえ思えるのだ。

「失敗でもしたらサラ金でもやるか」

「サラ金で、なんですか」

「サラリーマンを金融を略してサラ金や。つまりサラリーマンにカネを貸して金利をもらうわけや」

「それなら銀行の仕事と同じですね。新しく銀行をつくらんかて、山城相銀でサラリーマンにおカネ貸して儲けはつたらしいと違いますか」

「なるほど」

片桐は妙に感心していた。その時点では夢にも思わなかったが、山城相銀は後にサラリーマン・ローンに力を入れることになる。高度経済成長期の頃は、まだサラ金も昭和五十年代後半期のような大きな社会問題になっていなかった。昭和五十八年十一月、政府は法外な高金利や暴力団による取り立てなどを規制するためサラ金規制を施行していた。サラ金も経済が成長している間は伸びたが、一旦低成長に転じると債権が焦げつき、未回収の債権が増え続き苦しくなる。そして借金している者の成れの果てはサラ金地獄と化した。

片桐は(山城相銀は外部の人間に奪取られ、倒産寸前なんだぞ)と言いかけて言葉を飲んだ。せうかくついてくる気になっているのに、余計な心配をさせたくないと考えたからだ。「お前に承諾してもらえて勇氣百倍になったよ。珠美が結婚するまでは失敗は許されないからな」

「なによりも藤田社長に感謝されることは、必ずいいこともあるのと違います」

片桐家の家訓を教えられるような言い方に聞こえて妙な気がした。片桐はつくづく夫婦とは思えない不思議なものだと思った。まったく他人同志だったのに、いつしか同化しそれが心の支えになっている。

この夜、酒量がいっしょに増えたことも手伝って、精神的な不安感に浸りながら片桐は一段と激しく燃えた。澤子の身体は温もりが伝わる。それは単に生理的な体温でなく、心の温もりであった。夫婦の絆とは心の温もりを双方が確認し合うことだろうと片桐は思うのだった。澤子の温もりが片桐の身体に浸透してくるのがわかる。その温もりが片桐の心を満たし、勇気を奮い立たす。愛の定量化とは女の温もりを感じる感性に左右されるように思える。千早赤阪村の夜がふけるのは早い。遠くでクロウのなき声が聞こえる。窓のすき間から月光が差し込む。二人は間もなく寝入った。るり子が夕食の声をかけに真三の部屋に入ってきた。

「夕食の準備ができましたよ」

「そうか。すぐ行くよ」

二人はキッチンでテーブルについて。

「水カレイか、夏はこれがいいな」

「あなたの好物でしょう」

「そうだな」

二人はグラスにビールを注いで、軽くグラスを持ち上げ、そじあわせた。

「コロナ感染者が増えましたね」

「愛知県も1000名を超えているね」

「全国的に広がっているようですね」

「毎日、感染者の数で二喜一憂しているのも、疲れるよ」

「本音ですね」

「ついに世田谷区がこんなことでダメだと、人と密接する、例えば美容院、高齢者支援施設などから、その地区の人們たちが誰でも、いつでも、何度でも、無料で」を謳い、PCR検査を大幅に増やすしかない、都、国の協力を得て、世田谷モデルを進めようという」

「それがうまくいけば前進するでしょうか」

「多くの人がPCR検査を外国のように増やさない、感染の状況が把握できないと言っているのに、政府は及び腰になっている」

「日本は行政検査ということで、健康保健所すべての管理を統一しているので、感染者が増えてくると対応しきれないようなことが起こるようですね」

「るり子も、いろいろ知っているね」

「毎日、テレビを観ていますと、コロナのことを知るようになります」

「そうだな。ただ、専門家によってPCR検査を多くしても意味がないというかと思えば、徹底的に検査をすべきだと真反対のことを言う者もいるものだから、我々はどちらの意見を信じたらいいのか迷うね」

「政府は多量PCR検査を積極的でないのですかね」

「それにしても感染者が増えているときに、GOTOトラベルを実施、旅行、観光を進めている。全国一斉にしないで、地域ごとに徐々に進めるべきという意見が多かったが、政府は観光業者を救済する名目で踏み切ったようだ」

「それが感染者の急増につながっているのですか」

「人が動けば感染者が増えることは、当然予測していたのだろうが…」

二人はビールを注ぎ足し、しばらく沈黙して食べることに集中した。

やがてるり子は雑誌に載った「コラム」なまけものを真三に見せた。

「なまけもの(有能な急げ者は司令官に、有能な働きの者は参謀にせよ。有能な急げ者は有能であるが故に事は是非を決することができる)ハンス・フォン・ゼークト・ドイツの軍人」

「コロナウイルス騒動で多くの人は自宅待機を自主的とはいえず余儀なくされた。独居老人たちは死の恐怖に怯えながら時の流れに身を寄せなければならぬ、身体が動く間は炊事、洗濯等の家事を毎日繰り返す。その間、通院、買い物だけは欠かせない。それでも時間がありません。多くの老人はテレビの前に座ってチャンネルを替えながら眺めていることが多い。毎日毎日、ウイルス関連報道が多く、うんざりしている。」

狭い部屋で掃除をした後、アルバムや資料を引っ張り出しては過去を振り返る。人生の最終章でコロナウイルスが原因で死にたくないという思いが強い。そのためには、じっと耐

えるしかない。

その時ある老人は動物の「なまけもの」を思い浮かべたかもしれない。なまけものは、外気に合わせて体温を変化させる変温動物で、行動も遅いため基礎代謝量が非常に低く少量の食物摂取でも生命活動が可能となっている。なまけものは木の上で一日のほとんどを枝にしがみついて眠っている写真を観た人も多いだろう。なまけものは好き好んで怠けているのではない。少量の食べ物で効率よく活動できる体質なのである。

人はなまけものになりたいと思っても、寝たきりの体にならないう限り無理である。そうであれば科でワクチンや治療薬の開発を待つしかない。

「そうだな。老人は怯えているのはその通りだよ。俺もその仲間だよ」

「私も同じですが…」

「店をやめてから、俺もすっかり、なまけものになっている。それにしても自宅待機もしんどくて長続きしない。人は自暴自棄になるのではないのか」

「やはり、人は何か仕事をしていないと身がもたませんね」

「そのためには就職は大事なんだ。ところが企業の就職内定率が昨年に比べて下がっている」

「確かに店をやめたときは、これで自由な時間ができたと思いましたが、自由な時間が制限されるようになって、本当の自由時間はなくなり、かえって苦痛になりましたね」

「人は自分で考え、自由に行動ができないと、苦悶が増すということになる」

「やはり収束には二年から三年はかかりそうですね」

「どういう状態を収束と考えるかだがワクチンの開発といふことになれば、来年の半ばといふことになりそうだが…」

「ワクチンができて、日本人が全員打ってもらえるとは時間がかかりそうですね」

「今回の場合、手続きを簡略化しているので、副作用の心配が少なくていい」

「オリンピックがあるので、メーカーにも焦りがあるんじゃないか」

「これは焦りすぎかもしれない」

「これまでもワクチン後遺症の問題がありましたので、難しい問題ですね」

「やはり治療薬ができないと、完全な収束は期待できないだろう」

「そういうことを考えますと、気が遠くなりますね」

「愛知県も独自の緊急事態宣言を発出したので、当分は自粛生活だね」

「いやですね」

「そろそろ食事を終わろうか」と言いつつ、真三は書斎に戻って小説の続きを読み始めた。

片桐はその夜、常務から取締役へ降格された日のことを夢の中で思い浮かべていた。夕刊でK信用金庫の記事を読んだため、常務理事の山田の顔が消えてはすぐ現れる。そのうち片桐自身の顔に代わっている。あれは常務になつて一年目の春の午後だった。社長の藤田万吉に呼ばれて社長室に入った。

片桐はドアを叩く寸前まで、何を命じられるか思い悩んだが、ノブに手をかけた瞬間、頭の中が空っぽになっていた。

日々是好日

「思い出せばいい」

実家に足を運ぶこの頃、姉と二人で、留守になっていた家の片付けをしているのだ。築50年は経つのかな。瓦葺きで、雨漏りは今のところ大丈夫。ただ、ひさしのペンキが剥がれて、風が吹く日はハラハラと庭に落ちてくる。妙に、朽ちていく家の姿と両親の老いて家に戻れない現実の姿が重なってしまう。

片付けは、まず、庭のプランターから。薔薇とユリの花が好き。艶やかなのが好み。そう言えば、タンスを開けると「カラオケのステージ衣装」と思うようなバツと目を引く。



「いやあ、こんなにはかどらないものなんだ。招き猫の置き物二体、処分するには気が引ける。そんなこんなしながら、出てきた昭和のレコードの懐かし

色柄物がぎっしり。そんな贅沢さを感じる生活は、仕事を辞めてからなのだ。人並みの暮らしを謳歌してるなあと、明るく元気な母に幸せが来て良かったと思つた。

父も働き者で、定年後もシルバー人材派遣に登録して手先の器用さと真面目な仕事振りで、結構ご指名を受けてたようだ。しかし、足を悪くして、辞める事に。それから老化のスピードは速かった。老老介護に疲れた母は介護ワツに。

今、育ててもらい、嫁がせてもらった両親の暮らしぶりを姉と二人、思い出話をしながら、片付けている。

さには又手を休めてる。いつかは、私自身も娘たちにお世話になる日が来る。目にしてもらいたくないモノを、まずは自分の手で処分しておかねば。嫁姑の愚痴ノート。高価なモノは持つてないので、形見分けする事はまず無いに等しい。これについては申し訳ないと思う。でも、迷うこと無く処分できるモノばかりだから、許してもらおう。あゝなんだかちよと寂しくなつてきた(シワ)。

応募

日々の生活の中でチョットしたこんな事・あんな事・心とむ事、面白いエピソード等この欄へどしどし応募してください。(原稿用紙2枚程度)

応募先:あかい新聞 武豊店(郵送またはFAXにて)
住 所:知多郡武豊町字金下37番地
TEL:0569-72-0356
FAX:0569-72-6002

職員みよ子

自問自答

その後のカプトムン君はどういうわけか、メスが2匹となつてしまった。残念だけれどね。そ

ね。以前、Kちゃんに「あなたのこと、嫌い！」つまはつきり言われちゃったからね。小学生の僕と幼稚園児のKちゃん。平静を装うた、どういうわけか、パパの係となつてしまった。まあ、こういうこともあるさつ!と、僕はいつもパパに言っている。

今、僕は野球観戦に夢中なのだ。今年一度もナゴヤドームに行けやうにもないなあ。これも仕方ないかつ!もちろんドラゴンズを応援しているけれど、どのチームも応援しているんだ。Kちゃんはカープファンでね。ドラゴンズVSカープの試合だけは特別に気合を入る。ドラゴンズを応援している。Kちゃんはカープ、カープマ、いつも言ってる。カープもいいけれど、ドラゴンズの方が、ずーっといいよ!

おもちやの野球ゲームでKちゃんと一緒に遊んだよ。Kちゃんは好きなようにバットを振るから、「もつと、考えまよ!」と、言つてみたいところだけど、まあ、女の子だから言うの止めまおくことにした。Kちゃんに嫌われたら大変だから



知多の哲学散歩道 Vol.22

「鈴溪義塾物語・盛田昭夫と平岩外四の思想①」
久田健吉 (哲学研究者)

鈴溪義塾の創始者たちとして盛田命祺と溝口幹の思想を書いた時に、次には鈴溪義塾の継承者たちとして盛田昭夫と平岩外四の思想を書くと言明しておきながら、ここまで遅れたことをお詫びします。理由は、読者のみなさんに納得していただけるものが書けなかったからです。しかし、もし今回のものでも納得していただけないとしたら、恐縮ですが、来月の中頃に出版を予定している『企業哲学と共生の経営論を説いた盛田昭夫と平岩外四 鈴溪義塾物語② 一鈴溪義塾の継承者たちの思想一』(ほつとブックス新栄)をご覧ください。詳しい論証を含めて書いておきましたので。

これから6回にわたって、盛田昭夫と平岩外四の鈴溪義塾継承の思想物語を書きます。

鈴溪義塾の創始者としての盛田命祺と溝口幹の思想は、端的に言えば、盛田命祺が起こした「村民とともに生きる思想」を、彼から薫陶を受けた溝口幹が、この思想において、村を「徳これ香る里」にした哲学物語と言えます。

盛田昭夫と平岩外四はこの思想をどう継承し発展させたのでしょうか。これを書くのがここでの課題です。

二人が一番輝いた時代は1990年代の前半部です。盛田昭夫が経団連副会長、平岩外四が経団連会長であった時代です。しかしこの時代は大変な時代でした。

日本の技術力が著しく向上した時代で、その結果日本の輸出は大幅に伸びましたが、世界から「集中豪雨的輸出」と非難されるという具合でした。他方、世界経済の中には新自由主義が台頭してきました。金を儲ければいいという考えのマネタリズムです。

貿易の安定のための為替相場は、戦後当初の固定相場制から、経済の実勢を反映させる変動相場制に移行しましたが、彼らはこの為替差損を儲けの対象とします。そして大量のマネーを動員して為替相場を人為的につりあげ儲けるという行動にも出てきます。これでは資本主義の秩序は守れません。更にこの新自由主義は、もともと儲ければよいという自由主義ですので、資本主義の秩序を根本から破壊する行動をするようになります。

「集中豪雨的輸出」と非難される中で、同時に新自由主義の資本主義破壊行動とたたかうということを余儀なくされたのが、1990年代の前半部のことです。

資本主義の秩序を守るために、二人はどうたたかったのでしょうか。しかし資本主義の秩序とは何かと自問すれば、ほとんど研究されていませので、五里霧中。そこで二人は、資本主義の真実の姿を求めて奮闘することになったのです。つまり資本主義の秩序の確立を目指しつつたたかうということです。

しかし彼らはそんなことは言っていない。確かにその通りです。しかし盛田昭夫は「企業哲学」を語り、企業は哲学を持つべきだと言います。平岩外四は「共生の経営論」を説き、経営は共生を理念とすべきだと言います。彼らが資本主義の真実の姿を求めていることは明らかです。

では、彼らは具体的にどうたたかってきたのでしょうか。盛田昭夫から見ていくことにします。盛田は経営者でありながら、自ら執筆し自らの思想を残しています。平岩外四の「共生の経営論」は、自らの思考の結果と言うよりは、盛田との出会いの中で、形成させてきた感じがするからです。1990年代の前半部において。

この意味でも盛田昭夫から見ていくのがよいでしょう。盛田はこのたたかいの中で、鈴溪義塾の思想を継承していくのでした。

若竹俳壇

作品募集 毎月10日までに葉書で発行所へ

法師蟬あすの別れを鳴き尽くす
新米の一粒旨し金の底
跡継ぎは事務的となり盆の僧
秋立ちて田の風景が一変す
強烈な日射しのままに九月来る
凌霄の落ちて朽ちたるアスファルト
「黒人の命も大事」夏終わる
今年つとにまじりどおしきは秋の雲
立秋と言えど猛暑にたじろげり
小桜の塔子供達悼む夏の海
悠々と陽は炎天の上にあり
赤トンボどこへ行くやら二人旅
愛犬は宝物なり栗をむく
目覚めれば先ずは体操生身魂
台風の前線気になる土曜午後
香り立つ葉裏にひっそり葛の花
目録のまなこ外れる残暑かな
式典にコーラスもあり原爆忌
日の暮れてこの時が好き夜の秋
秋早煙の予定ままだらず
片陰に身を寄せ歩く散歩道
向日葵の全部うな垂れ道すがら
庭先をうの真横に鬼やんま
コロナ禍に翻弄されし夏休み
原爆忌祈りを捧げ平和誓ふ
コロナ禍の七十五年原爆忌
夏の蝶視野より消ゆる長電話
蓴菜を初めて食す旅の宿
百姓に三密は無し胡麻叩く
鮎焼きで苦み煩はる夕げかな
コロナ禍を冷焼酎が吹き払う
土用風みじろぎもせず稲太る
肩並べ稚児も数珠繰る地蔵盆
半月に飛行機重なる秋夕べ
丸窓の三等船室月の航
月光を浴び味噌蔵の大豊
一ト切の梨の串や指先に
手作りの味噌に味はふ衣被
虫の音がかすかに届く六畳間

蟹江 永了
関 里美
池田 ユタカ
杉江 民子
長坂 みつゑ
細井 かね子
塚本 千鶴
谷川 と志江
中尾 節也
古川 義高
古川 三恵子
久田 三子
山下 どり
竹内 三千彦
平野 紀江
磯村 美子
桑山 撫子
浦崎 ひとみ
吉田 ひろし
大津 くに
林 京子
江端 久恵
杉江 久恵
中山 タエ
清水 洋子
村井 範子
山中 博子
竹内 艶子
竹内 佳香
豊吉 義夫
田上 義則
横野 義則
山下 敏子
山下 敏子
山下 敏子
坂下 悠児
岩橋 靖久
中村 洋子

える骨董の器や茶道具、現代作家の作品等、掘り出し物を見つけてください。

トランプ・ベッドで奏でる日本とアメリカの調(二十一日(水) 午前十時半開演 出演 杉江 斉(トランプ・ベッド) 麦雅由(ピアノ)

▼秋のサマサマ・サマサマ・二十一日(火)・二十五日(日) 普通に外出が出来ていることを願いなから、楽しく個性的なお洋服を揃えて皆様のお越しをお待ちしております。回でも笑い合える時を一緒に!!

▼文化のまちづくりセミナー わくわく仕掛け人西村浩の公共空間の使い方が変われば、ひょっとしたら町は変わるんじゃないかと思つている今日この頃のお話(三十日(金) 午後六時半開演 対象 小学生以上(申込要) 参加費 無料

▼武豊町文化協会芸術祭 文化祭は中止となりました

▼折紙でハロウィンの飾りを作ろう(一日(木)・三十一日(土) 午前十時午後四時十五分の好きな時間※三日十日は無し)

▼渡邊悠陶展(三十日(金)・十月十一日(水) 無料)

▼武豊町中央公民館 パソコン広場(一、八、十五、二十二、二十九日各木午後一時半〜同四時半 問合せ ☎090-8422-4251(鈴木)

▼武豊自然観察会 ツルや枝・どんぐり等で工夫しよう! (十八日(日) 午前九時半〜料金 五十円(保険料) 問合せ 知多自然観察会 ☎080-1631-0413(畑中)

▼武豊町総合体育館 スポーツ協会秋季町民大会・太極拳大会 十四日(水)・バドミントン大会 十八日(日) 第十八回健康づくり体操発表会(二十五日(日))

▼武豊町民会館 ゆめたろうプラザ

▼武豊町民会館 ゆめたろうプラザ

▼武豊町民会館 ゆめたろうプラザ

▼武豊町民会館 ゆめたろうプラザ

▼武豊町民会館 ゆめたろうプラザ

▼武豊町民会館 ゆめたろうプラザ

▼武豊町民会館 ゆめたろうプラザ

▼武豊町民会館 ゆめたろうプラザ

▼武豊町民会館 ゆめたろうプラザ

▼武豊町民会館 ゆめたろうプラザ

▼武豊町民会館 ゆめたろうプラザ

▼武豊町民会館 ゆめたろうプラザ

わが家のニューフェイス



平松紗英(7才) 里彩(5才) 武豊町

写真・文	だけど、ずっと仲良くしてね	チヨコレートを多く食べちゃう私	姉ちゃんが大好きです。おやつのお	てくれます。私はそんな優しいお	マに怒られていたり、いつも助け	教えてくれたり、いつも	く、一緒に遊んだり、ピアノを	お姉ちゃんがい					私には2歳年上の	大好きな里彩です。	ることと遊ぶことが	ることにちは!	こん

愛とMy Family



堤結望(2才) 絢都(4才) 常滑市

写真・文	保育園に行くと仲良くしてね	保育園に行くと仲良くしてね	保育園に行くと仲良くしてね	保育園に行くと仲良くしてね	保育園に行くと仲良くしてね	保育園に行くと仲良くしてね	保育園に行くと仲良くしてね	保育園に行くと仲良くしてね	保育園に行くと仲良くしてね	保育園に行くと仲良くしてね	保育園に行くと仲良くしてね	保育園に行くと仲良くしてね	保育園に行くと仲良くしてね	保育園に行くと仲良くしてね	保育園に行くと仲良くしてね	保育園に行くと仲良くしてね	保育園に行くと仲良くしてね	保育園に行くと仲良くしてね

おはようを届けよう。

アルバイト・パート募集中

地域のご家庭・お店・会社
に新聞をお届けする仕事です。
あなたからの新聞を
待ってくれる人がいるって
幸せな仕事だと思います。



朝刊配達員

月給30,000~50,000円(配達部数による)

中日新聞 詳細は担当 赤井まで 気軽にお問合せください
あかい新聞店 武豊 0569(72) 0356
常滑 0569(35) 2861

サイバー犯罪に注意!

「自分の個人情報盗まれ悪用されてしまった、偽サイトにお金を振り込んでしまった」等といったサイバー犯罪の相談が増加しています。
犯罪被害に遭わないためにも、以下の5つの防犯対策を行いましょう!

1 URLは押さない!

偽メールが届いてきている可能性があります
メール本文中のURLは押さずに公式サイトからアクセスしましょう!

2 慌てない!

偽のショッピングサイトかもしれません
個人情報を入力する前に、不審点がないか確認しましょう

3 電話しない!

警告画面は偽物かもしれません
表示された電話番号は掛断しましょう

4 使い回さない!

不正ログインされるかもしれません
サービスごとに別々のパスワードを設定しましょう

5 すぐに相談しましょう

一人で悩んではいけません
サイバー犯罪に関して、困ったことがあれば、周りの人や最寄りの警察署に相談しましょう!



常滑警察署 0569-35-0110